

最近の少年非行を考える

—立直り支援の視点から—

子どもたちの非行は、どのように変化しているのでしょうか？

昨年は、十代の少年による凶悪な事件や子どもたちのインターネット悪用とその被害が大きく報じられました。子どもたちの日常生活に目を向けますと、小・中学校でのいじめ・暴力行為、家庭内での虐待やドメスティックバイオレンス（DV）は、いずれも深刻な状況を迎えています。そして、このような現状に対して、加害者である子どもと被害者となった子ども、それぞれの問題が指摘されています。

今回は、最近の少年非行から子どもたちの暴力や性にかかる問題を取り上げるとともに、問題を抱えている子どもたちへの家庭や地域の行う立直り支援についてフロアの皆様とご一緒に考えてみたいと思います。

□ 講座内容

日時：2016年3月13日(日)

午後1時～2時30分

会場：文教大学12号館 12101教室

講師：石橋 昭良 先生

文教大学人間科学部教授

臨床心理士

元警視庁心理職



交通：日比谷線・東武伊勢崎線 北越谷駅下車徒歩10分

□ 受講案内

対象：関心のある方はどなたでもご参加いただけます。

費用：無料

定員：100名(申し込み先着順)

申し込み方法：住所、氏名、一般公開講座「最近の少年非行を考える」参加希望と記入し、電話・FAX・メールのいずれかにてお申し込み下さい。

申し込み締切：定員に達しましたら、締め切らせていただきます。

参加受け入れが決まり次第、順次受講票をお送りいたします。

※ 会場に駐車場はございません。当日は公共交通機関をご利用下さい。